

1 1月定例記者会見の概要

1. 日 時 平成30年11月5日(月) 9時30分～10時40分

2. 場 所 本庁舎3階 第一会議室

3. 出席者 <報道機関>

朝日新聞社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)

NHK南相馬報道室 (南相馬記者クラブ会員)

河北新報社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)

毎日新聞社南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)

福島民報社南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)

福島民友新聞社相双支社 (南相馬記者クラブ会員)

みなみそうまチャンネル

計 9 社

< 市側 >

市長 林副市長 松浦副市長 教育長

小高区役所長 鹿島区役所長 総務部長 復興企画部長

市民生活部長 健康福祉部長 健康福祉部理事 経済部長

建設部長 総合病院事務部長 小高病院事務部長

教育委員会事務局次長

計 16 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報係

【市政報告】

皆さんおはようございます。お集まりいただきありがとうございます。

10月27日に、小高区と原町区の一部の旧避難指示区域内の方を対象とした復旧・復興にかかる説明会を、小高区浮舟文化会館で開催しました。質疑応答では、小高スマートインターチェンジ建設の早期実現や、有害鳥獣の処理、森林除染の実施など、地域が抱える問題について質問やご意見を多数いただき、解決しなければならない問題が、未だ山積していると実感したところです。

10月29日には、国・県・市による「南相馬市の避難指示解除後の復興・再生に向けた協議」が、開催されました。こういった席上でも、説明会において出た質問やご意見について情報を共有し、問題の解消を図るべく今後、協議していきたいと思っております。

11月3日には、ホテルラフィーナにおいて平成30年度南相馬市表彰式を開催しました。今年度は、自治功労受賞が2名、教育文化功労受賞が3名、消防防災功労受賞が4名で、全9名の受章者のうち7名の方々にご臨席を賜り表彰を行いました。

た。受賞者の皆様は、いずれも市民の模範となる優れた功績を残された方々です。表彰式終了後には、祝賀会を開催し、懇談させていただきました。

同11月3日には、あきいち2018実行委員会によって旭公園と周辺の歩行者天国を会場に「あきいち2018」が開催され、多くの市民で賑わいました。実行委員会の皆様が中心となり、企業や団体・個人事業主による露店や体験コーナー、各種ステージ披露など催していただきました。

また、同会場で行われた交流自治体フェアには、12の自治体から参加をいただき、特産品の販売や観光PRをしてもらうことで、あきいちの盛り上げに一役買っていたいただきました。

昨日は「第6回鎮魂復興市民植樹祭」並びに「第1回ふくしま植樹祭」が本市と福島県の共催によって、鹿島区北海老地内の海岸防災林を会場に、約3千人の参加者のもと成功裏に開催することができました。鎮魂復興市民植樹祭として約0.4haの面積に、タブノキやコナラなど約1万8千本の広葉樹の苗木を植樹しました。願いや祈りを込められ植樹された苗木が「鎮魂の森」となり、みらいへの礎となることを期待しております。一方、ふくしま植樹祭では、約1.5haの面積に約9千本のクロマツを植樹しております。

本年6月に開催された「第69回全国植樹祭」を含め「第6回鎮魂復興市民植樹祭」並びに「第1回ふくしま植樹祭」が盛会のうちに終了できましたのも、関係者の皆様のご尽力の賜物と感じております。重ねて感謝申し上げます。

11月6日(火)には、秋篠宮殿下が、いわき市で開催される「第10回世界水族館会議」にご出席されるため来県され、小高産業技術高校もご訪問なされます。

スーパープロフェッショナルハイスクールに指定され、地域コミュニティの再生や、地域の復興を担う人材の育成に取り組む同校の、福島イノベーション・コースト構想に関連する知識や、技能を習得する学生の姿をご覧いただく予定となっております。私もお出迎えに参列いたします。

前回の記者会見でもお知らせしていますが、11月10日には市総合防災訓練が、市役所本庁舎とジャスマールみなみそうまを会場に行われます。また、本日5日は「津波防災の日」に合わせて、各行政区において地域個別訓練を実施していただいているところです。今年は、異常気象や、大規模な地震災害が全国的に多かったと感じております。幸い本市へは、甚大な被害をもたらす災害が起きることはありませんでしたが、東日本大震災並びに東京電力福島第一原発事故の記憶を忘れることなく、常に災害に対する備えを意識できるよう訓練に取り組みます。

予てから整備を進め、公募による愛称も決定した商業施設「小高ストア」のオープンが12月6日(木)に決定しました。「小高ストア」の愛称を考えた小高小2年の五十嵐音葉ちゃんは、愛称決定表彰式の席で「文房具がいっぱいあるお店にしてほしい」と、伝えてくれたことを今でも覚えています。今後、指定管理者と連携しながら、お客様の声を大切にして地域の利便性を向上させてまいります。

任期満了に伴う南相馬市議会議員一般選挙が、11月11日に告示、18日に投開票が予定されております。「18歳選挙権」が導入され、初めての市議選となります。有権者の皆様には、政治に関心を寄せていただき、一票を投じていただければと思います。投票は、当日の投票のほか、不在者投票や期日前投票ができます。期日前投票所は、市役所や各区役所をはじめ、ジャスマール、ヨークベニマル原町西

店、道の駅南相馬に設けていますので、通勤・通学や、買い物の傍らに投票いただければと思います。南相馬市の将来を一票に託す思いで、棄権することなく、投票所へ足をお運びいただきますようお願い申し上げます。

今年、浜通りのコメの作況指数は、103の「やや良」となり、国・県の平均指数102をわずかに上回りました。

さらに、各部からの報告にもあります鮭川食堂の営業開始や、真野川鮭増殖組合との連携で開催される真野川サケ有効利用調査などに関連して、サケの遡上数が、前年を上回っているとの情報も耳にしており、季節の移り変わりが、収穫の秋と呼ぶにふさわしい嬉しい話題を運んできてくれたと感じています。

また、収穫の秋に関連し、10月には秋祭りや文化祭など、多くの催しが開催され、記者の皆様も多くの取材をこなしていただいたことに感謝申し上げます。

今週7日には立冬を迎え、暦の上では「冬」です。市内の小学校では、先月中旬から今月中旬にかけて各学校で学習発表会が開催されています。小高区では、あかりのファンタジーイルミネーションが開催されるなど、市内の催しも冬の季節を感じさせるものへと変わってきています。

各種催しの折、市民の皆様の笑顔を拝見できるたびに、震災・原発事故前の笑顔が戻りつつあると感じる一方、復旧・復興への歩みを着実に進めなければと、気が引き締まる思いです。

家族や友人とともに暮らし続けられる100年のまちづくりを実現するために、関係機関と連携を図りながら施策を進めて参りたいと考えています。

私からの報告は以上です。各部長による報告のあと、皆さんからのご質問をお受けいたします。

【各部からの報告】

小高区役所

- ・あかりのファンタジーイルミネーション in おだかの開催について
- ・小高区商業施設「小高ストア」の開所式典について

鹿島区役所

- ・真野川サケ有効利用調査の実施概要について

市民生活部

- ・第31回野馬追の里健康マラソン大会等の実施について

経済部

- ・新田川鮭蓄殖漁業協同組合運営の「鮭川食堂」の営業開始について
- ・第2回南相馬市産農産物等PRイベント(INヨークベニマル原町西店)の開催について

【質疑応答】

質問 1 :

小高ストアの開所が12月6日(木)とのことですが、エンガワ商店の閉店は12月5日(水)ということでしょうか。また、閉店に関連して何か催しは行われますか。

回答 1 : 小高区役所長

エンガワ商店の閉店日に関しては、おっしゃる通りです。閉店に際しての催しは、現在のところ予定していません。

質問 2 :

12月6日(木)の小高ストアの開所に、名付け親である五十嵐音葉ちゃんは出席しますか。

回答 2 : 小高区役所長

開所式が平日午前のため、学校に相談しながら調整を進めます。また、ご本人が出席できない場合は、代理で保護者の方の出席も検討します。

質問 3 :

小高ストアに関して小高区民の待ち望んだ施設が、ようやく開所までこぎつけたわけですが市長から一言お願いいたします。

回答 3 : 市長

市長就任前から商業施設の要望があったことは承知しており、市長就任後も早く開所して欲しいと要望が寄せられていましたので、ようやく開所できることに一つの区切りを感じ、ほっとしています。(名付け親の五十嵐さんから)文房具の要望もあったので、皆さんに親しんでもらえるよう使いやすく、また来たくなるような店づくりを指定管理と連携し、一緒に考えながら活用していきたいと思えます。

問 4 :

エンガワ商店の閉店時間と、小高ストアの開店時間を教えてください。

回答 4 : 小高区役所長

エンガワ商店は、閉店時間を20時としていましたので、5日も同時刻までの営業を予定しています。

小高ストアは、通常9時からの開店となっています。6日については、式典が10時からとなっており、式典終了後に営業を開始します。

問 5 :

鮭川食堂について、鮭が上がるまで営業したいという説明でしたが、まだ営業していないということでしょうか。

また、資料には10月26日に営業開始と記載があるのに通知が遅れたのは何か理由がありますか。

回答 5 : 経済部長

鮭川食堂はすでに営業を始めています。営業の終期が、鮭が上がらなくなるまで営業を続けたいとのことでした。

通知が遅れたのは、鮭川食堂から26日以降に市に連絡があったためです。情報の周知が遅れ申し訳ありませんでした。

質問 6 :

昨日行われた植樹祭の感想と、会場となった土地の今後の整備計画を教えてください。

回答 6 : 市長

昨日行われた植樹祭会場というよりは、6月に開催された全国植樹祭の雫地区の会場をメインに、今後10年間は、イベント等を含めながら全国植樹祭を契機とした植樹活動を続けていきたいと思っています。その中で、鹿島区の会場についても今後の10年間で、植樹活動を実施したいと思います。

市内には、市民が誇る行事が数多くあります。最たるは相馬野馬追で1,000年続く歴史を誇ります。野馬追マラソン大会も市民に定着しつつあるイベントとなっています。植樹祭も今後、色々な方を迎えて規模の大きいイベントに成長させたいと思っています。鎮魂復興市民植樹祭は、災害の記憶を将来へ繋げていくために、大変良いイベントだと思っています。タブノキやスダジイは津波に耐え生き残った。松の木だけでは津波に耐えられないが、色々な樹木を混在して植樹することで強い森となり、その森を将来へ残していきたいとの思いで、色々な人の思いや協力を頂きながら今後も継続していきたいと思っています。

質問 7 :

昨日の植樹祭では、海老蔵さんから「相馬野馬追」は読みづらいとか、競馬とタイアップしてはどうかなど自由な提言をいただき、相馬野馬追も歴史ある行事ですが、知名度では歌舞伎に負けている気がしました。これを踏まえて、今後の相馬野馬追のPRについて市長が考えるところはありますか。

回答 7 : 市長

相馬野馬追は、市の誇りと申し上げていますが、全国での知名度は高くないのだと感じました。相馬野馬追の読み方に苦労されていたようです。初めて見聞きする人にとっては、分かりづらいかもしれないと気づかされました。相馬野馬追に関しても、PRの仕方や競馬場の活用、または一年を通してのイベントであるとか、外国人向けの対応など、柔軟な考えを持って、色々な要素を取り入れながら進めていかなければと感じたところです。